

第24回(2021年度)日本環境共生学会学術大会発表論文募集要領

(学術・編集委員会決定)

理事会決定

1. 適用

この要領は、日本環境共生学会（以下「学会」という）における第24回（2021年度）学術大会発表論文（以下「発表論文」という）の募集に適用する。発表論文には、一般発表論文（口頭発表、ポスター発表）と特典付査読論文に投稿した論文の発表論文を含むものとする。

2. 応募資格

原則として、本学術大会において口頭発表またはポスター発表を行う口頭またはポスター発表者、および論文の筆頭著者は、発表申込時に会員となっている者に限る。（ただし、入会申請中の場合は、承認されるまで暫定的に会員とみなす。）

3. 発表論文の内容

発表論文は、環境共生に関する論文および報告で、まとまった結論を示しており、独立性・完結性を有する未発表の論文とする。

4. 発表論文のカテゴリー

発表論文は、次のカテゴリーについて募集する。応募する論文については、A、B、Cの各分類から原則として各一つ以上関連する項目に◎又は○を選択すること（複数記載あり）。

A. 環境共生に関連する都市・地域の課題	関連度(◎, ○)	B. 地球規模の課題・経済・社会の課題/解決に向けた取り組み等	関連度(◎, ○)	C. 研究の性格	関連度(◎, ○)
A1. レジリエントな国土・防災		B1. 気候変動緩和・エネルギー問題		C1. 環境共生の理念・体系化への寄与	
A2. 人口減少・少子高齢化・地域経済		B2. 気候変動影響・適応策		C2. 新たな事実、問題、課題、知見の発見・提示	
A3. 持続可能なまち・地域づくり、地域活性化、伝統・文化の継承・活用		B3. 生物多様性の減少		C3. 環境情報の蓄積・活用等の高度化(社会調査、IoT等)	
A4. 持続可能な農林水産業・グリーン産業		B4. 鉱物資源制約		C4. 環境実態・動態解析	
A5. 都市と農山漁村の共生		B5. 食糧生産/畜産等負荷の増大		C5. モデル化(数値シミュレーション、統計モデル、AI等)	
A6. 再生可能エネルギー・バイオマス活用		B6. 砂漠化等土地利用変化による問題		C6. 環境共生方策、社会実装の設計・実施・理論化等	
A7. 緑地・里山・森林保全・野生鳥獣		B7. 淡水資源の不足		C7. 法・制度・政策等提案・提言	
A8. 都市計画		B8. 海洋汚染(海洋プラスチック問題を含む)		C8. ステークホルダーとの協働による研究	
A9. 交通		B8. 途上国/越境環境問題		C9. その他()	
A10. QOL・持続可能なライフスタイル		B9. アジェンダ2030/SDGs全般			
A11. 持続可能な資源循環・廃棄物		B10. SDGs(ターゲットまで指定して下さい)			
A12. 大気・水・土壌汚染, 化学物質リスク		B11. ESG投資			
A13. 災害下の環境問題		B12. 経済・社会・環境の統合			
A14. その他()		B13. デジタル経済の影響			
		B14. 科学技術的・社会的イノベーション			
		B15. 教育・人材育成			
		B. 16その他()			

注：「B10. SDGs(ターゲットまで指定して下さい)」の意味は、17のゴールだけでなく、169のターゲットを指定することを意味する。例えば、○でゴール13のターゲット2を記載した場合「○13.2」と指定する。

5. 発表論文の原稿作成

一般発表論文の学術大会発表用原稿は、A4サイズ・最小2頁～原則最大10頁とし、『環境共生』原稿作成例にしたがい、ワープロ・和文タイプ等により作成する。但し、行番号を削除すること。手書き原稿（図表を含む）は受理しない。

特典付査読論文原稿を投稿する場合には、ページ数を含め『環境共生』投稿規定に従うこととする（行番号を付すること）。なお、特典付査読論文を投稿する場合は、別途、上述の一般発表論文用の学術大会発表用原稿を用意すること。学術大会発表用原稿は、A4サイズ・最小2頁～原則最大10頁とし、『環境共生』原稿作成例にしたがい、ワープロ・和文タイプ等により作成する。なお、学術大会発表用原稿は行番号を削除すること。

『環境共生』投稿規定、原稿作成例は日本環境共生学会webサイト (<http://jahes.jp/toukou/>) から入手すること。

6. 発表申込: Submission of presentation

学術大会ホームページの「発表申し込み」を用いて申し込むこと。以下の(1)から(3)（*の箇所）については、日本語で申し込む場合は日本語と英語の両方を記載し、英語で申し込む場合は英語のみで記載すること。

Submit the following information to the conference secretariat by e-mail. When you submit it in Japanese, you need to submit it in Japanese and English for (1) to (3) below. When you submit it in English, you need to submit it in English only.

(1) 発表論文名* : Paper title

(2) 発表論文の著者全員の氏名（所属）* : Name of all Authors(Affiliation)

例：環境共生 太郎（日本環境共生大学共生学部）

Example: Taro Kankyokyousei (Nihon kankyokyousei University, Faculty of Kyousei)

(3) 口頭またはポスター発表者の氏名及びポジション* : Name of presenter(position)

例；環境共生 太郎（修士課程1年）

Example: Taro Kankyokyousei (Master student 1st)

(4) 連絡先（氏名、所属、e-mailアドレス）: Contact (Name, Affiliation, e-mail address)

(5) 発表希望分野: Expected category of the presentation

AからA、B、Cそれぞれの関連する項目番号に◎又は○

記載例(example) : A1◎、A2○、B1◎、C1◎、C2◎

(6) 発表希望種別（口頭発表またはポスター発表）: Type of presentation, oral or poster

(7) 発表論文概要（日本語400字以内）: Abstract of paper (around 200 words in English)

申込期限は、下記の通りとする。

【発表申込期限:Deadline of submission】2021年7月5日（月）

【申込み先】[webによる申し込み](#)

7. 原稿提出

【原稿提出期限】

特典付査読論文の審査用論文原稿（『環境共生』掲載可能投稿）：2021年7月5日（月）

注：提出物は『環境共生』投稿規定を参照。

提出先：jahes@dpc.agu.ac.jp（日本環境共生学会本部事務局）

一般発表論文用原稿（特典付査読論文原稿提出者の一般発表用の学術大会発表原稿を含む）：
2021年8月6日（金）

提出物：行番号を削除したpdfファイル

提出先：[webによる申し込み](#)

8. 審査および掲載

投稿された一般発表論文は、形式のみを審査して、第24回（2021年度）学術大会発表論文のweb

siteに掲載する。

特典付査読論文は、掲載の可否(滞りなく審査、著者による修正が行われた場合、2021年10月末までに採否を決定予定)を通知した後、『環境共生』に掲載する予定。